

KENWOOD

デュアルサイズCD／カセットレシーバー

DPX-4000

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

© B64-1475-00 (JW)

CONTENTS

| | |
|--|-----------|
| ■ 安全上のご注意 | 3 |
| ■ 使用上のご注意 | 6 |
| ■ 操作のしかた | |
| ALL MODE (共通機能) | 10 |
| 電源オン、電源オフ、ボリューム、アッテネーター、ラウドネス | 10 |
| ソースモード選択、時計表示、時計調整 | 11 |
| オーディオコントロール | 12 |
| メニューモード設定 | 13 |
| ▲ TUNER MODE (FM/AM放送を聴く) | 14 |
| チューニング | 14 |
| 表示モード切り替え、チューナーメモリー、オートメモリー | 15 |
| トラフィックインフォメーション | 16 |
| ステーションネームプリセット | 17 |
| セレクトバイファイル | 18 |
| メニューモード設定 | 19 |
| ■ TAPE MODE (カセットテープを聴く) | 20 |
| テーププレイ、イジェクト | 20 |
| 早送り/巻き戻し、テープアドバンス | 21 |
| テープタイプ切り替え、ドルビーB NRシステム | 22 |
| リピートプレイ、ブランクスキップ | 23 |
| ● CD MODE (CDを聴く) | 24 |
| CDプレイ/ポーズ | 24 |
| イジェクト、トラックサーチ、トラックリピートプレイ、トラックスキップ | 25 |
| トラックランダムプレイ、表示モード切り替え | 26 |
| ディスクネームプリセット | 27 |
| ● DISC CHANGER MODE (CD/MDチェンジャーにセットされているディスクを演奏する) | 28 |
| ディスクプレイ/ポーズ | 28 |
| トラックサーチ、ディスクサーチ、トラックリピートプレイ、ディスクリピートプレイ | 29 |
| トラックスキップ、ディスクスキップ、トラックランダムプレイ | 30 |
| マガジンランダムプレイ、表示モード切り替え | 31 |
| ディスクネームプリセット | 32 |
| セレクトバイファイル | 34 |
| タイトルスクロール | 35 |
| ▲ EQUALIZER/ANALYZER CONTROL (イコライザー、アナライザーを調整する) | 36 |
| イコライザー設定 | 36 |
| スペクトラムアナライザー選択、デモンストレーション | 37 |
| ■ 接続のしかた | 38 |
| ■ 取り付けかた | 40 |
| ■ ヒューズ交換のしかた | 41 |
| ■ 故障かな?と思ったら | 42 |
| ■ 保証とアフターサービス | 46 |
| ■ 仕様一覧 | 47 |

本取扱説明書の表示は説明用に作成したものです。実際とは異なることがあります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。お読みになった後は必要などきにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

▲記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

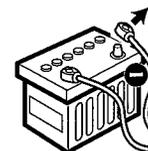
警告



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



安全上のご注意



禁止 コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止 本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



実施 本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にしないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



禁止 アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意 車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



実施 本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意 本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施 事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実施 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施 運転者が本製品の操作を行うときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。



禁止 ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずご購入の販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



禁止 製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



実施 修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

注意



禁止 カセットテープ挿入口やディスク挿入口に指を入れしないでください。怪我をすることがあります。



実施 カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のためご購入の販売店にご依頼ください。



禁止 ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをすることがあります。



注意 本製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。



禁止 別売品のリモコンには指定以外の電池を使用しないでください。また、電池の入れ替えは極性に注意し指示通りに行ってください。乾電池の破裂、液漏れなどにより、火災や怪我の原因となることがあります。



禁止 本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

使用上のご注意

■ 本機に接続できるディスクチェンジャーについて

KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C30およびKMD-C80は直接接続することができます。

KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C50, またはKDC-C55を接続するときは、別売品の"CA-DS100"が必要です。別途お買い求めください。また、C705i, C705sr, MD6, MD66を接続するときは、別売品の"CA-KD20"が必要です。別途お買い求めください。

CD/MDチェンジャースイッチングユニット"KCA-S210A"を使用するとディスクチェンジャーを2台接続することができます。接続等詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

O-N切り替えスイッチのあるディスクチェンジャーを接続している場合はO-Nスイッチを"N"側に設定してください。"O"側に設定すると正しく動作しません。2台以上接続する場合のO-Nスイッチの設定については接続する機種種の取扱説明書もあわせてご覧ください。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能が異なる場合があります。

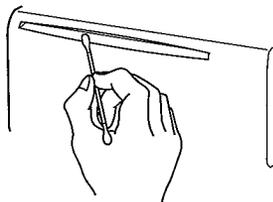
■ 取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

■ セットのお手入れについて

本機のパネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

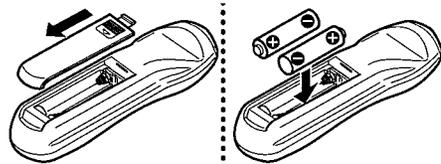
ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、時々掃除してください。ホコリがたまった状態でCDを挿入するとCDにキズが付くことがあります。



■ 別売品リモコンについて

別売品のリモコン"KCA-RC600"をご使用になると、リモコンで本機の操作ができます。ただし、0~9ボタンと*(アスタリスク)ボタンは使用できません。

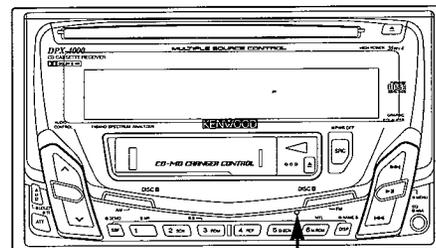
リモコンに付属の乾電池(単四型2本)は⊕⊖の向きを正しく合わせて入れてください。



操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因となります。

■ セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。



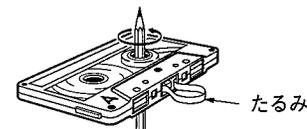
リセットボタン

■ ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなる場合があります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

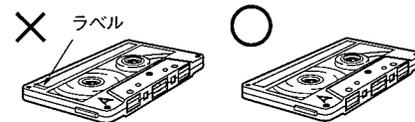
■ テープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



たるみ

変形したカセットテープやラベルのはがれかけたカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



ラベル

カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないで下さい。

使用上のご注意

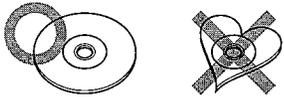
使用できないCD

記録面や、ラベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剝がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。



特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（ラベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

CDマークの付いているCD以外は使用できません。

CDの取扱について

CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

取り扱いには、記録面に触れないようにします。ラベルが印刷されていない面が、記録面です。



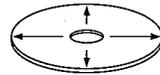
CDの保存

直射日光が当たる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

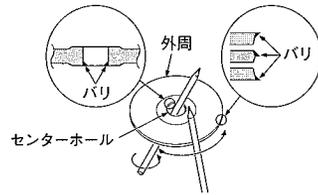
CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや、やわらかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふきとってください。従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音とびの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



CD用アクセサリについて

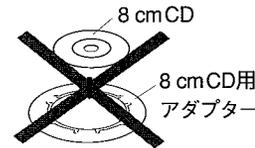
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。

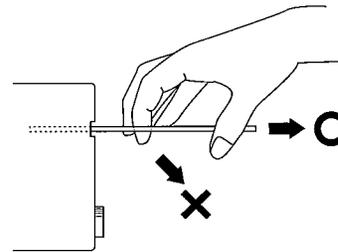
また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売品の8cmCD用マガジンをご使用ください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCD記録面に傷をつける原因となります。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部に露（水滴）がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなる場合があります。

このような場合は、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へお問い合わせください。

温度について

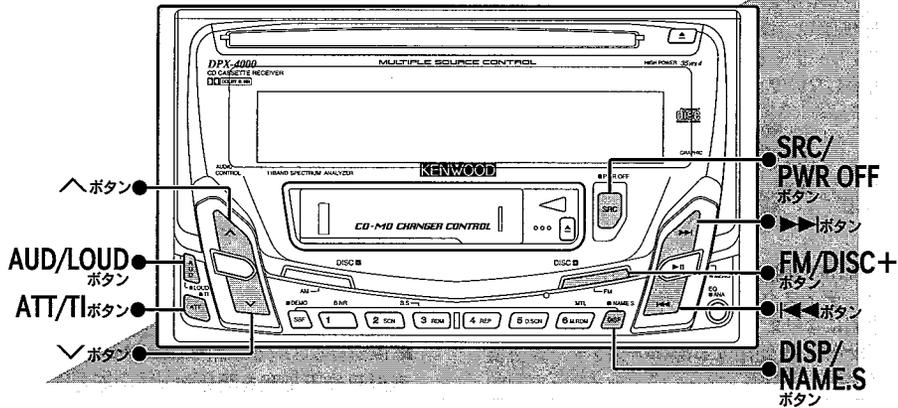
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

ALL MODE

ALL MODE



電源オン — 電源を入れる —

SRC/PWR OFFボタンを押すと電源がオンになります。

◆ MEMO ◆

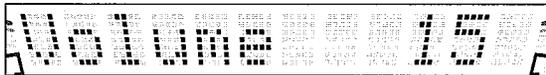
前に電源をオフしたときのソースモードになります。

電源オフ — 電源を切る —

SRC/PWR OFFを1秒以上押すと電源がオフになり、画面表示が全て消えます。

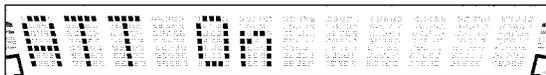
ボリューム — 音量を調整する —

▲ボタンを押すごとに、音量が大きくなります。
▼ボタンを押すごとに、音量が小さくなります。



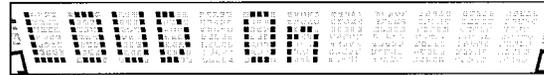
アッテネーター — 音量をすばやく小さくする —

ATT/TIボタンを押すごとにアッテネーターがオン/オフします。
オンすると“ATT On”と表示され、ATTインジケーターが点滅して音量が瞬時に小さくなります。



ラウドネス — 小音量時にメリハリのある音質にする —

AUD/LOUDボタンを1秒以上押すごとにラウドネスがオン/オフします。
オンすると“LOUD On”と表示され、LOUDインジケーターが点灯して高音と低音が強調された音質になります。



◆ MEMO ◆

チューナーは低音のみ強調された音質になります。

ソースモード選択 — 聴きたいソースに切り替える —

SRC/PWR OFFボタンを押すごとにソースモードが下記の順に表示されます。

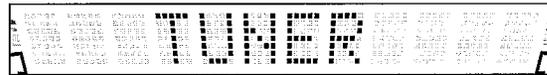
- ▼ TUNER (TUNER MODE : FM/AM放送を聴くモード)
- ▼ TAPE (TAPE MODE : テープ演奏を聴くモード)
- ▼ CD (CD MODE : CD演奏を聴くモード)
- ▼ DISC-CH (DISC CHANGER CONTROL MODE : ディスクチェンジャー演奏を聴くモード)
- ▼ AUX INPUT (AUX MODE : KCA-S210A接続時にAUX音声を聴くモード)
- ▼ ALL OFF (電源オンのまますべての機能を一時的に停止させるモード)

選択しているモードは表示で確認できます。

◆ MEMO ◆

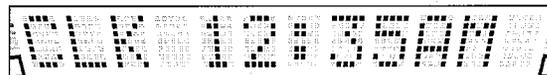
- 使用できるモードは接続している機種により異なります。
- カセット、CDが入っていないときやディスクチェンジャーが接続されていないときは、そのモードには切り替わりません。
- ディスクチェンジャーを2台接続しているときのDISC CHANGER CONTROL MODEは「DISC-CH1」、「DISC-CH2」の順で切り替わります。

例) チューナーモードを選択したとき:



時計表示 — ALL OFF モード中に時計を表示する —

DISP/NAME.Sボタンを押すごとに、時計表示のオン/オフができます。



◆ MEMO ◆

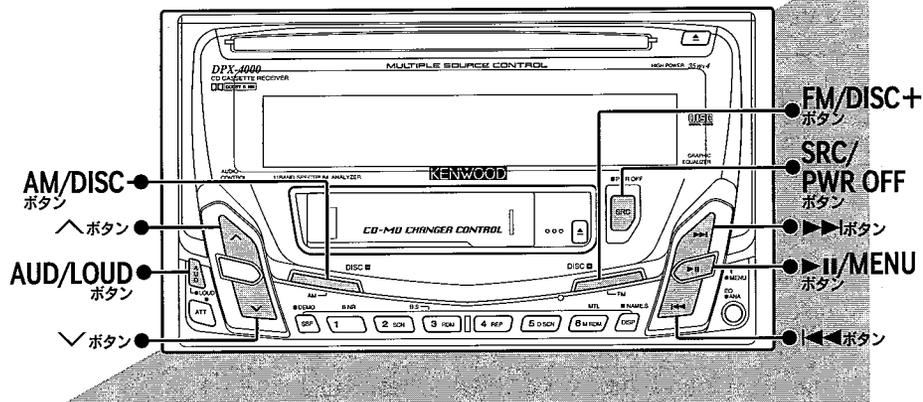
本機の電源がオフのとき、および車両のエンジンキーがオフのときに時計は表示できません。

時計調整 — 時刻を合わせる —

1. DISP/NAME.Sボタンを押して、時計を表示させます。
2. DISP/NAME.Sボタンを押しながら◀ボタンを押すと“時”、▶ボタンを押すと“分”が調整できます。押し続けると連続して時間が変わります。
DISP/NAME.Sを押しながらFM/DISC+ボタンを押すと、分が“00”になります。

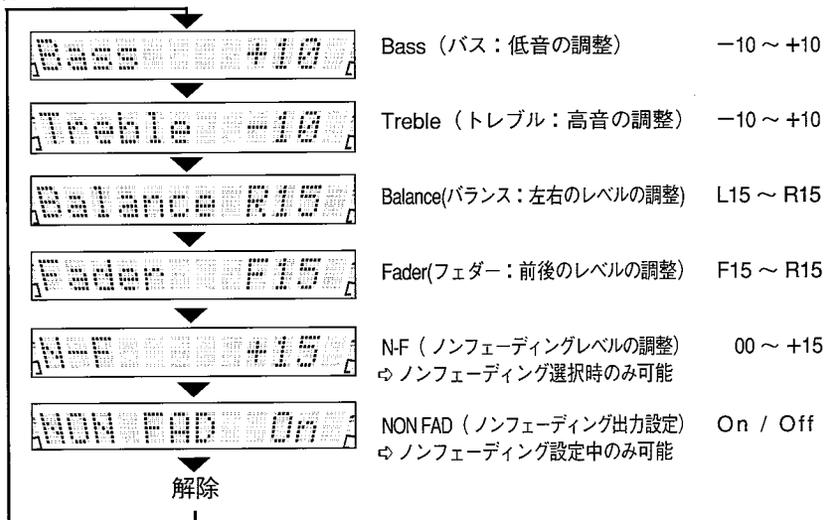
例: 10:00~10:29⇒10:00
10:30~10:59⇒11:00

ALL MODE



オーディオコントロール - 音質とレベルの設定 -

1. AUD/LOUDボタンを押すとオーディオコントロールモードになります。
2. AUD/LOUDボタンを押すごとに調整モードが下記の順に切り替わります。
3. 各モード中にへボタンおよびｖボタンを押すと、音質とレベルが調整できます。



MEMO

- ノンフェーディング出力はフェーダーの調整には影響されない出力です。主にサブウーファー用出力として使用します。
- ノンフェーディングレベルの調整は、フロント/リアスピーカーとの音量差を調整する機能です。ノンフェーディングレベルをプラス (+) に調整すると、プラスに設定した分のフロント/リアスピーカーの音量が小さくなります。この後ボリューム調整を行って、フロント/リアスピーカー音量を元の大きさにすることにより、ノンフェーディング出力のレベルを大きくできます。

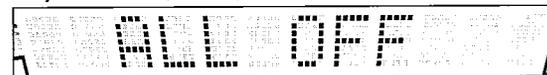
MEMO

- 低音と高音の音質は、各ソース (FM、AM、TAPE、CD、DISC CHANGER) ごとに設定ができます。
- 5秒間以上何も操作しないとオーディオコントロールモードは自動的に終了します。

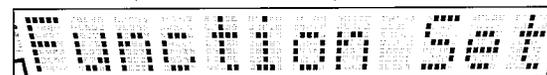
メニューモード設定

—スペクトラムアナライザー表示/ディマー/操作確認音/プリアウトの設定—

1. SRC/PWR OFFボタンを押して“ALL OFF”を表示させ、ALL OFFモードにします。



2. ｐｐ/MENUボタンを1秒以上押します。“Function Set”と表示され、メニューモードになり、MENUインジケータが点灯します。



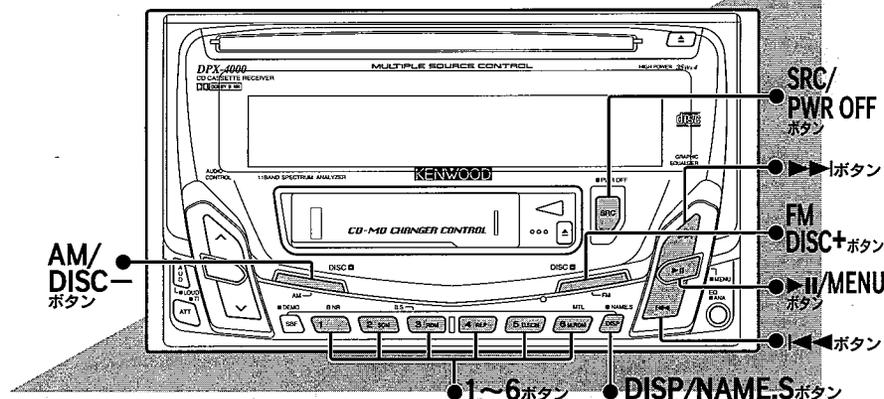
3. ｐｐボタンまたは ｐｐボタンを押して設定モードを選択します。
 ｐｐボタンを押すと、下記表の順に設定モードが切り替わり、 ｐｐボタンを押すと逆の順に設定モードが切り替わります。
4. FM/DISC+ボタンまたはAM/DISC-ボタンを押して、各モードの設定を行います。
 FM/DISC+ボタン、AM/DISC-ボタンを押すたびに各モードでの設定が切り替わります。

| 設定モード | 表示 | 設定内容/設定状態 |
|---------------------|----------------------------|---|
| スペクトラムアナライザーグループの設定 | ANA. Silence | 緩やかな動きのスペアナグループ |
| | ANA. Standard | 中間の早さのスペアナグループ |
| | ANA. UP-Beat | スピード感のある動きのスペアナグループ |
| ディマー | DIM STEP 1 ~ DIM STEP 5 | 車のライトスイッチをオンにしたときの、本機ディスプレイの減光量を設定できます。 DIM STEP 1 [暗い] ~ DIM STEP 5 [明るい] |
| | 操作確認音 | BEEP On または BEEP Off 本機を操作したときに鳴る確認音のオン/オフ設定ができます。 BEEP On : 操作確認音が鳴ります。 BEEP Off : 操作確認音は鳴りません。 |
| プリアウト | Preout N-F または Preout Rear | 本機プリアウト出力の設定ができます。 Preout N-F : プリアウトがノンフェーディング出力になります。 Preout Rear : プリアウトがリア出力になります。 |

5. ｐｐ/MENUボタンを押して、メニューモードを終了します。

TUNER MODE

TUNER MODE



チューニング - FM/AM放送を聴く -

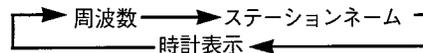
1. SRC/PWR OFF ボタンを押して、“TUNER”と表示させ、TUNERモードにします。
2. FM/DISC+ ボタンまたはAM/DISC- ボタンを押して、バンドを選びます。
FM/DISC+ ボタンを押すごとに、FMバンドの“F1”と“F2”とに切り替わります。
AM/DISC- ボタンを押すごとに、AMバンドの“A1”と“A2”とに切り替わります。
3. ● オートチューニングに設定されているとき (AUTO 1インジケータ点灯時)
 ◀◀ ボタンを押すと、周波数の低い方の受信可能な放送局を自動的に探して受信します。
 ▶▶ ボタンを押すと、周波数の高い方の受信可能な放送局を自動的に探して受信します。
 ● プリセットステーションシークチューニングに設定されているとき (AUTO 2インジケータ点灯時)
 ◀◀ ボタンを押すと、プリセット番号の小さい方へ切り替わります。
 ▶▶ ボタンを押すと、プリセット番号の大きい方へ切り替わります。
 ● マニュアルチューニングに設定されているとき (AUTOインジケータ消灯時)
 ◀◀ ボタンを押すと、受信周波数が1ステップ下がります。
 ▶▶ ボタンを押すと、受信周波数が1ステップ上がります。

◆ MEMO ◆

- AM放送のステレオ放送は、モノラル音声になります。
- オートチューニング、プリセットステーションシークチューニング、マニュアルチューニング設定の切り替え方はメニューモード設定(P.19)をご覧ください。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

表示モード切り替え - 表示を切り替える -

DISP/NAME.S ボタンを押すごとに、表示が以下の順に切り替わります。



◆ MEMO ◆

ステーションネーム (P.17) を登録していない放送局を受信中にステーションネーム表示にすると、“No Name” と表示されます。

チューナーメモリー - 受信している放送局を記憶させる -

● 放送局をメモリーする

放送局を受信中に、1~6ボタンのいずれかを2秒以上押します。
押したボタンに現在聴いている放送局がメモリーされ、ボタンNo.が表示されます。
“F1”、“F2”、“A1”、および“A2”の各バンドで1~6ボタンにメモリーできます。



● メモリーした放送局を呼び出す

バンドを選んで、1~6ボタンのいずれかを押し、ボタンNo.にメモリーした放送局を受信します。

オートメモリー - 自動的に放送局を探してメモリーする -

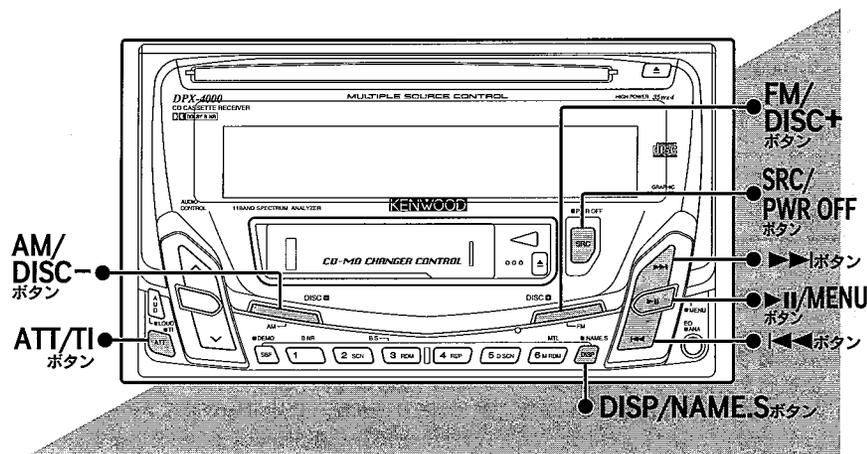
● オートメモリーをする

1. FM/DISC+ ボタンまたはAM/DISC- ボタンを押して、メモリーしたいバンド (“F1”、“F2”、“A1”、または“A2”) を選びます。
2. ▶▶/II/MENU ボタンを1秒以上押して、“Function Set” と表示させ、メニューモードにします。
3. ◀◀または▶▶ ボタンを押して、オートメモリーモードを選択します。“AME Ready” と表示されるとオートメモリーモードです。
4. FM/DISC+ ボタンまたはAM/DISC- ボタンを2秒以上押すと、オートメモリーが始まります。受信可能な放送局を6局メモリーするか、周波数を一周すると最後にメモリーした放送局を受信してオートメモリーは終わります。

● メモリーされた放送局を呼び出す

バンドを選んで、1~6ボタンのいずれかを押し、ボタンNo.にメモリーした放送局を受信します。

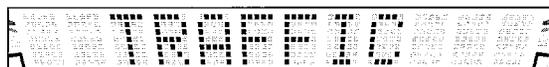
TUNER MODE



トラフィックインフォメーション -ワンタッチで交通情報局を受信する-

● 交通情報を聴く

ATT/TIボタンを1秒以上押すごとに、交通情報機能がオン/オフします。オンになると“TRAFFIC”と表示され、交通情報局を受信します。

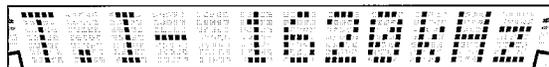
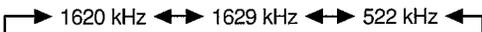


◆ MEMO ◆

SRC/PWR OFFボタンを押しても交通情報機能をオフにできません。

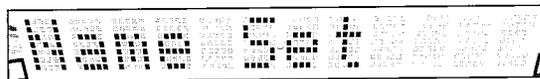
● 周波数を切り替える

◀◀または▶▶ボタンを押すごとに、周波数が下記のように切り替わります。



ステーションネームプリセット -放送局に名前を付ける-

1. 名前を付けたい放送局(周波数)を受信します。
2. DISP/NAME.Sボタンを2秒以上押すと、“Name Set”と表示され、ステーションネームプリセットモードになります。



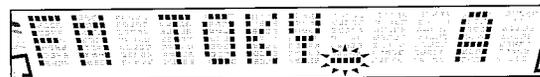
3. ◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押して、文字を入力したい位置に点滅しているカーソルを移動させます。



4. ▶▶/MENUボタンを押すごとに入力できる文字種がA(英大文字/数字/記号)⇒a(英小文字/数字/記号)⇒ア(カタカナ/数字/記号)の順に替わります。



5. FM/DISC+ボタンまたはAM/DISC-ボタンで入力する文字を選びます。3~5の操作を繰り返してステーションネームを完成させます。



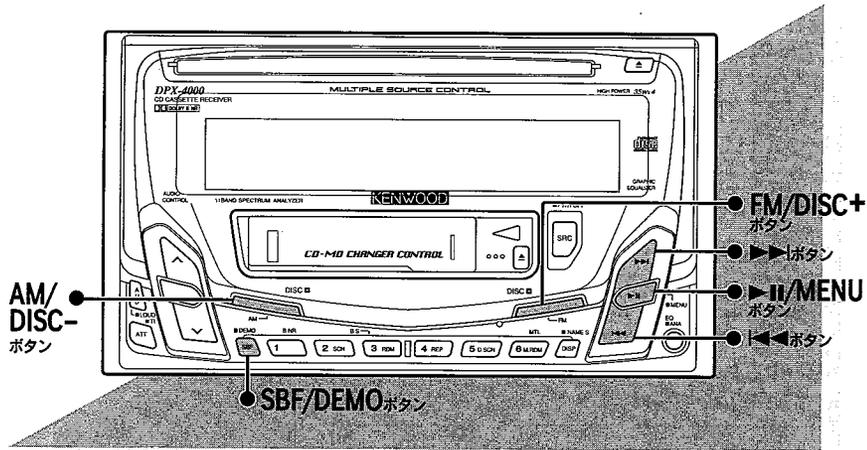
◆ MEMO ◆

- 時計表示中はステーションネームプリセットモードに切り替えることはできません。
- FM/DISC+またはAM/DISC-ボタンを押し続けると文字を連続して切り替えることができます。
- カタカナの小文字はカタカナの大文字が全て表示された後に表示されます。
- 入力できる記号は /、+、-、*、=、<、>、[,] です。
- 入力できる文字数は8文字までです。
- スペースを入れる場合は、各文字種をスクロールして文字の無いところでカーソルを移動してください。

6. DISP/NAME.Sボタンを押すと、聴いている放送局に名前が登録され、ステーションネームプリセットモードが終了します。

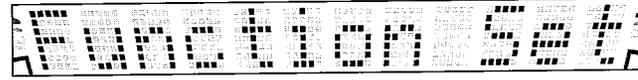
◆ MEMO ◆

- 10秒間操作を行わないと、入力したところまでの文字がメモリーされステーションネームプリセットモードは解除されます。
- ステーションネームを登録できる放送局数はFM/AM合わせて30局までです。31局目のステーションネームプリセットを行うと、1局目にステーションネームプリセットした放送局名が自動的に消されます。
- ステーションネームを変更したいときは、放送局を受信した後、再度2~5の操作を行えば以前に付けた名前は消えて、新たに付けた名前が記憶されます。
- リセットボタンを押してもステーションネームは消えません。



メニューモード設定 - オートメモリー/チューニング設定/受信方法の設定 -

1. **1/MENU**ボタンを1秒以上押し、“Function Set”と表示させ、メニューモードにします。



2. **1**ボタンまたは**2**ボタンを押して設定モードを選択します。
2ボタンを押すと、下記表の順に設定モードが切り替わり、**1**ボタンを押すと逆の順に設定モードが切り替わります。

3. **FM/DISC+**ボタンまたは**AM/DISC-**ボタンを押して、各モードの調整を行います。
FM/DISC+ボタン、**AM/DISC-**ボタンを押すたびに各モードでの設定状態が切り替わります。

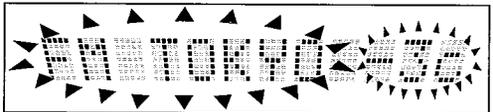
| 設定モード | 表示 | 設定状態 |
|----------|-------------|---|
| オートメモリー | AME Ready | オートメモリーが開始可能な状態です。FM/DISC+ボタンまたはAM/DISC-ボタンを2秒以上押すとオートメモリーが始まります。詳しくはP.15のオートメモリーをご覧ください。 |
| チューニング設定 | Auto 1 Seek | オートチューニングに設定されています。(AUTO1インジケータ点灯) |
| | Auto 2 Seek | プリセットステーションシークチューニングに設定されています。(AUTO2インジケータ点灯) |
| | Manual Seek | マニュアルチューニングに設定されています。 |
| モノラル受信 | MONO On | FMの音声を強制的にモノラルにできます。モノラル音声にすると雑音を小さくできます。 |
| | MONO Off | MONO On：強制モノラル受信機能がオンに設定されています。(mc インジケータ点灯) MONO Off：強制モノラル受信機能がオフに設定されています。 |

4. **1/MENU**ボタンを押して、メニューモードを終了します。

◆ MEMO ◆
 モノラル受信機能の設定はFMバンド選択時のみ可能です。

セレクトバイファイル - メモリーしている放送局から探す -

1. **SBF/DEMO**ボタンを押します。
 “SBF SNPS”と表示され、SBFインジケータが点灯し、メモリーされている放送局の周波数を5秒間ずつ順に表示します。ステーションネームを登録している放送局はステーションネームで表示されます。



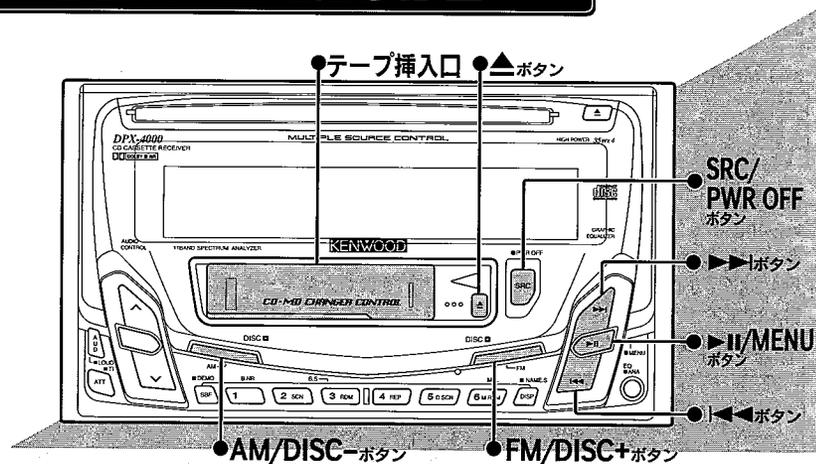
◆ MEMO ◆
 ● **2**ボタンを押すごとに早送り表示、**1**ボタンを押すごとに早戻し表示ができます。
 ● **FM/DISC+**ボタンまたは**AM/DISC-**ボタンを押すとセレクトバイファイルするバンドをすぐに切り替えることができます。

2. 聴きたい放送局が見つかったら、**SBF/DEMO**ボタンを押します。
 選択した放送局を受信します。

◆ MEMO ◆
 途中で解除するときはSBF/DEMOボタンを1秒以上押します。

TAPE MODE

Tape Mode



テーププレイ —テープを演奏する—

● カセットテープが入っていないとき ([TAP]・IN インジケータが消灯時)
テープが見える面を右側にしてテープ挿入口にカセットテープを入れると “TAPE” と表示され、[TAP]・IN インジケータが点灯し、テーププレイが始まります。

● カセットテープが入っているとき ([TAP]・IN インジケータが点灯時)
SRC/PWR OFF ボタンを押し、“TAPE” と表示させ、TAPEモードにするとテーププレイが始まります。

テーププレイ中に▶||/MENU ボタンを押すとテープの走行方向が切り替わります。

◆ MEMO ◆

テーププレイ中は走行方向を “TapePlay-FWD” または “TapePlay-REV” と表示してお知らせします。A面を上にしてテープを入れて、“TapePlay-FWD” と表示されているときはA面演奏中、“TapePlay-REV” と表示されているときはB面演奏中です。

イジェクト —カセットテープを取り出す—

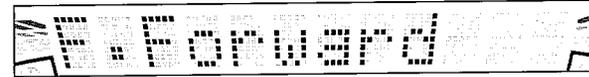
▲ボタンを押すとカセットが出てきます。

◆ MEMO ◆

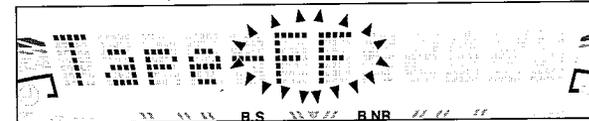
他ソース中や電源オフ中でもイジェクトできます。

早送り/巻き戻し

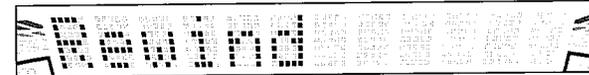
FM/DISC+ ボタンを押すと “F.Foward” と表示され、早送りが始まります。



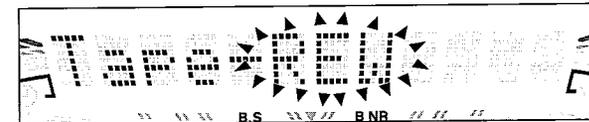
早送り中は “Tape-FF” が点滅表示します。



AM/DISC- ボタンを押すと “Rewind” と表示され、巻き戻しが始まります。



巻き戻し中は “Tape-REW” が点滅表示します。

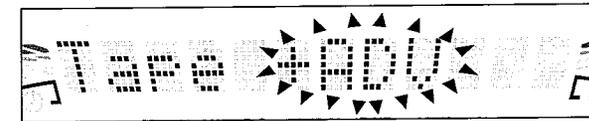


早送り/巻き戻しを止めたいときは▶||/MENU ボタンを押します。

テープアドバンス —飛び越し選曲する—

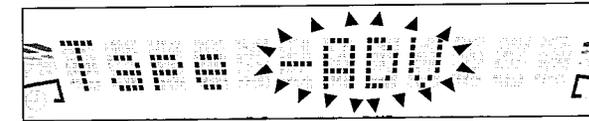
● 次の曲を聴く

▶▶ボタンを押すと “Tape +ADV” と表示されて早送りが始まり、次の曲を演奏します。
途中で解除したいときは▶||/MENU ボタンを押します。



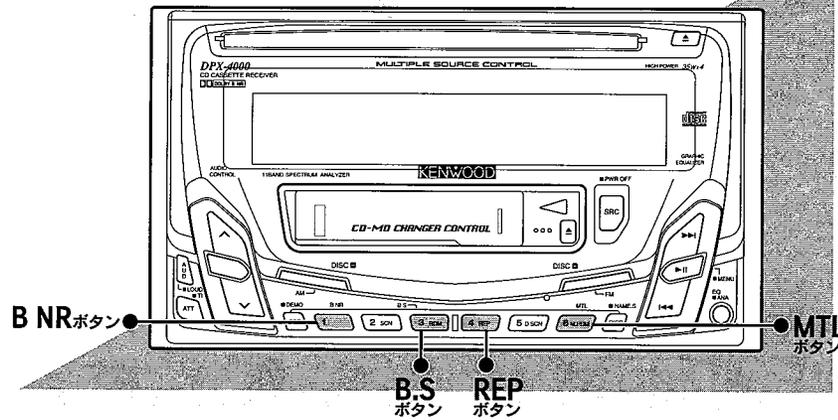
● 今聴いている曲を最初から聴く

◀◀ボタンを押すと “Tape -ADV” と表示されて巻き戻しが始まり、今聴いている曲を最初から演奏します。
途中で解除したいときは▶||/MENU ボタンを押します。



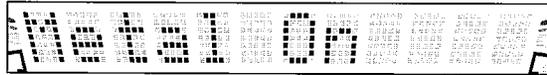
TAPE MODE

TAPE MODE



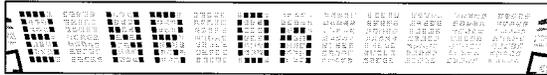
テープタイプ切り替え - メタル/クロームテープを聴く -

MTLボタンを押すごとに、テープポジションが切り替わります。
 “Metal On” : メタル(TYPE IV) / クローム(TYPE II)ポジション
 “Metal Off” : ノーマル(TYPE I)ポジション



ドルビーB NRシステム - ドルビーB NRを使って録音されたテープを聴く -

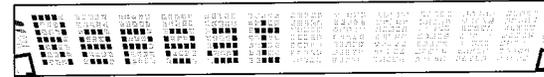
B NRボタンを押すごとに、ドルビーB NRシステムがオン/オフします。
 オンになると“B NR On”と表示され、B NRインジケータが点灯します。
 オフになると“NR Off”と表示され、B NRインジケータが消えます。



ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

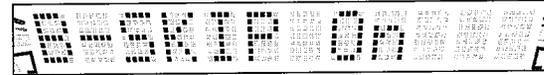
リピートプレイ - 同じ曲を繰り返し聴く -

REPボタンを押すごとに、リピートプレイがオン/オフします。
 オンになると“Repeat”と表示され、REPインジケータが点灯します。
 現在聴いている曲を繰り返し演奏します。



ブランクスキップ - 無録音部分を早送りする -

B.Sボタンを押すごとに、ブランクスキップがオン/オフします。
 オンになると“B-SKIP On”と表示され、B.Sインジケータが点灯します。
 10秒以上無録音部分があると、自動的に次の曲まで早送りします。
 早送り中はB.Sインジケータが点滅します。
 オフになると“B-SKIP Off”と表示され、B.Sインジケータが消えます。



MEMO

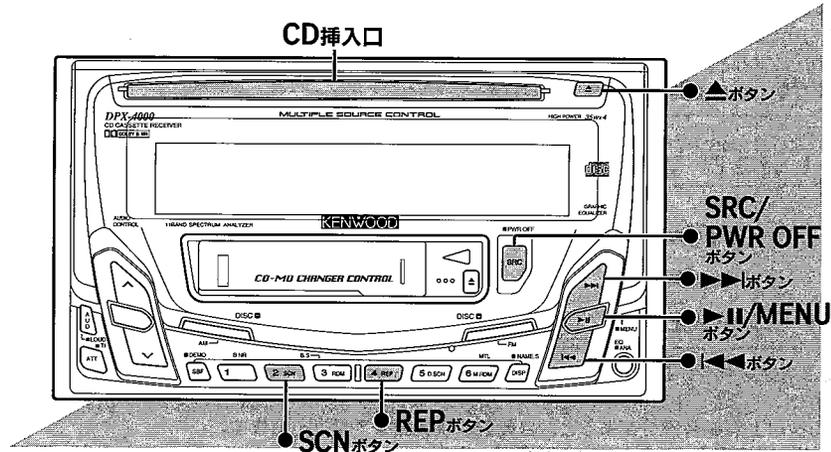
- テープアドバンスとリピートは曲間の何も録音されていない無録音部分を検出して行います。そのため曲間の無録音部分が4秒未満のテープや曲の途中で録音レベルが非常に小さい部分が4秒以上続くテープでは曲間を検出できなかったり、曲の途中で「先頭」と判断することがあります。
- ブランクスキップは無録音部分の雑音が非常に大きいと早送りされないことがあります。また、クラシック音楽など録音レベルが非常に小さい部分が曲の途中で10秒以上続くと、ブランクスキップすることがあります。この場合はブランクスキップをオフにしてください。お買い上げ時はオンになっています。

TAPE MODE

CD MODE

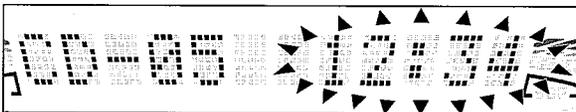


CD MODE



CDプレイ/ポーズ - CDを演奏する -

- CDが入っていないとき (INインジケータが消灯時)
CDをラベル面を上にしてCD挿入口に差し込むと“CD”と表示され、INインジケータが点灯してCDプレイが始まり、トラックNo.と演奏時間が表示されます。
- CDが入っているとき (INインジケータが点灯時)
SRC/PWR OFFボタンを押し、“CD”と表示させ、CDモードにするとCDの演奏が始まります。
- CD演奏を一時停止する
CDプレイ中に▶II/MENUボタンを押すと、演奏時間表示が点滅して、CDプレイが一時停止になります。
再度▶II/MENUボタンを押すとCDプレイが始まります。



△ 注意

8cmCDはアダプターを使用せずそのまま差し込んでください。12cmCDと同じようにそのまま演奏できます。8cmCD用アダプターを使用すると誤動作や故障の原因になります。

イジェクト - CDを取り出す -

▲ボタンを押すと、CDが出てきます。

◆ MEMO ◆

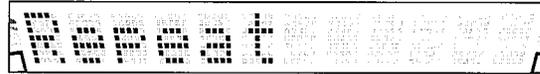
他ソース中や電源オフ中でもイジェクトできます。

トラックサーチ - 聴きたい曲を選ぶ -

- 先の曲を選ぶ
▶▶ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
▶▶ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。
- 現在の曲を最初から聴く/手前の曲を選ぶ
◀◀ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
◀◀ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

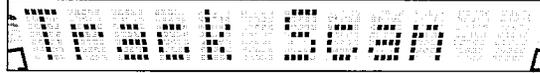
トラックリピートプレイ - 同じ曲を繰り返し聴く -

REPボタンを押すごとにトラックリピートプレイがオン/オフします。
オンにすると“Repeat”と表示されます。トラックリピートプレイ中はREPインジケータが点灯し、聴いている曲を繰り返し演奏します。



トラックスキャンプレイ - 聴きたい曲を探す -

SCNボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがオン/オフします。
オンにすると“Track Scan”と表示されます。トラックスキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯し、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。
聴きたい曲が見つかったらSCNボタンまたは▶II/MENUボタンを押します。

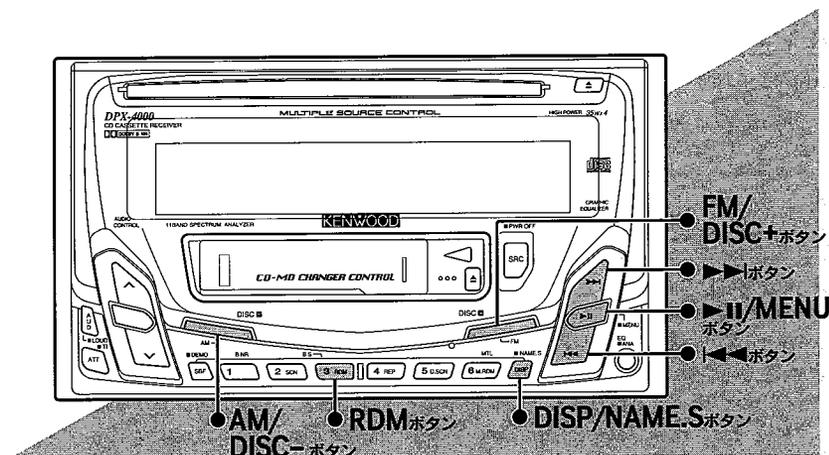


◆ MEMO ◆

すべての曲をスキャンすると自動的にトラックスキャンプレイはオフになります。

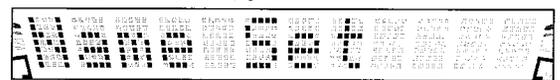


CD MODE



ディスク名前プリセット —CDに名前を付ける—

1. 名前を付けたいCDを演奏します。
2. DISP/NAME.Sボタンを2秒以上押しと、“Name Set”と表示され、ディスク名前プリセットモードになります。



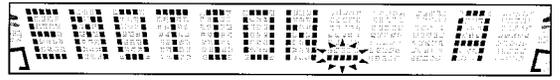
3. ◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押して、文字を入力したい位置に点滅しているカーソルを移動させます。



4. ▶▶II/MENUボタンを押すごとに入力できる文字種がA(英大文字/数字/記号)⇒a(英小文字/数字/記号)⇒A(カタカナ/数字/記号)の順に替わります。



5. FM/DISC+ボタンまたはAM/DISC-ボタンで入力する文字を選びます。3~5の操作を繰り返してディスク名前を完成させます。



◆ MEMO ◆

- 時計表示中はディスク名前プリセットモードに切り替えることはできません。
- FM/DISC+またはAM/DISC-ボタンを押し続けると文字を連続して切り替えることができます。
- カタカナの小文字はカタカナの大文字が全て表示された後に表示されます。
- 入力できる記号は /、+、-、*、=、<、>、[,] です。
- 入力できる文字数は8文字までです。
- スペースを入れる場合は、各文字種をスクロールして文字の無いところでカーソルを移動してください。

6. DISP/NAME.Sボタンを押すと、聴いているCDに名前が登録され、ディスク名前プリセットモードが終了します。

◆ MEMO ◆

- 10秒間操作を行わないと、入力したところまでの文字がメモリーされディスク名前プリセットモードは解除されます。
- ディスク名前を登録できるCDは10枚までです。11枚目のディスク名前プリセットを行うと、1枚目にディスク名前プリセットしたCD名が自動的に消されます。
- ディスク名前を変更したいときは、CDの演奏を開始した後、再度2~5の操作を行えば以前に付けた名前は消えて、新たに付けた名前が記憶されます。
- ディスクチェンジャーモードでディスク名前プリセットしたディスクを、CDモードで演奏してもディスク名は表示されません。
- ディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。総録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。
- リセットボタンを押してもディスク名は消えません。

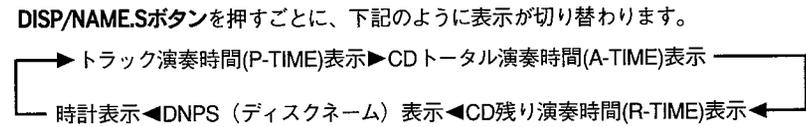
トラックランダムプレイ —聴いているCDから自動的に曲を選ばせて演奏する—

RDMボタンを押すごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。オンになると“Random”と表示されます。トラックランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯し、自動的に曲を選んで演奏します。



▶▶ボタンを押すと他の曲を選んで自動的に演奏します。

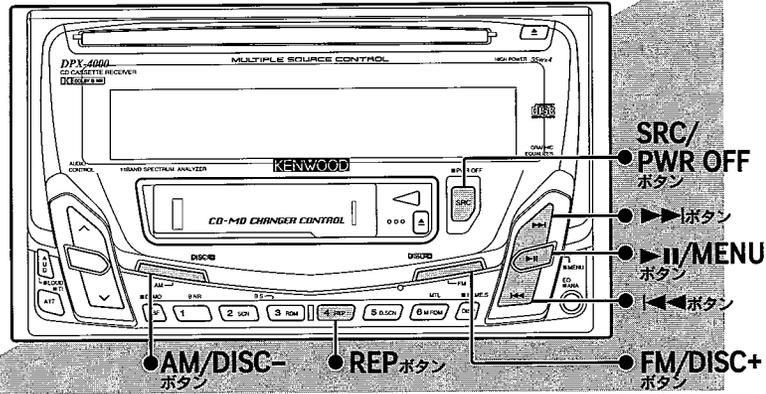
表示モード切り替え —表示を切り替える—



◆ MEMO ◆

ディスク名前が登録されていないCDを演奏中にディスク名前表示にすると、“No Name”と表示されます。

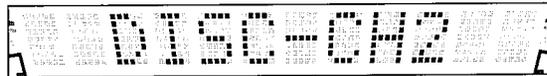
DISC CHANGER MODE



DISC CHANGER MODE

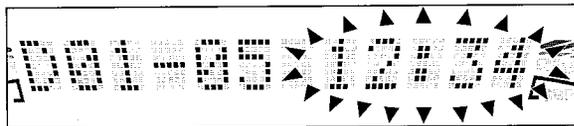
ディスプレイ/ポーズ — ディスクチェンジャーを演奏する —

- **ディスクの演奏をする**
SRC/PWR OFF ボタンを押し、“DISC-CH”と表示させ、DISC CHANGERモードにするとディスクの演奏が始まります。
- **ディスクチェンジャーを2台接続しているとき**
ディスクチェンジャーが2台接続されているときは、ディスクチェンジャーモードが“DISC-CH1”モードと“DISC-CH2”モードとに分かれます。
SRC/PWR OFF ボタンを押し、使用するディスクチェンジャーを選びます。



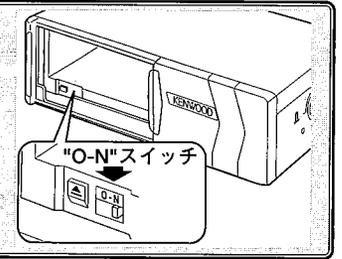
◆ MEMO ◆
ディスクチェンジャーを2台接続する場合は、別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”が必要です。

- **ディスク演奏を一時停止する**
ディスプレイ中に▶II/MENUボタンを押すと、演奏時間表示が点滅して、ディスプレイが一時停止になります。
再度▶II/MENUボタンを押すとディスプレイが再開します。



ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチについて

- O-N切り替えスイッチのある機種を接続している場合は“O-N”スイッチを“N”側に設定してください。
- CD/MDチェンジャースイッチングユニットKCA-S200を使用して、2台接続する場合は、“O-N”スイッチを“O”側に設定してください。“N”側に設定すると正しく動作しません。



DISC CHANGER MODE

トラックサーチ — 聴きたい曲を選ぶ —

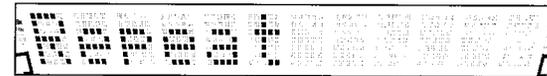
- **先の曲を選ぶ**
▶IIボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
▶IIボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。
- **現在の曲を最初から聴く/手前の曲を選ぶ**
◀◀ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ、押しすごとに手前の曲へトラックサーチします。
◀◀ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

ディスクサーチ — 聴きたいディスクを選ぶ —

- **先のディスクを選ぶ**
FM/DISC+ボタンを押すごとに先のディスクへサーチします。
- **手前のディスクを選ぶ**
AM/DISC-ボタンを押すごとに手前のディスクへサーチします。

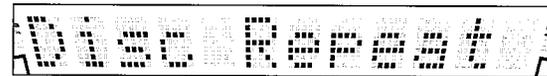
トラックリピートプレイ — 同じ曲を繰り返し聴く —

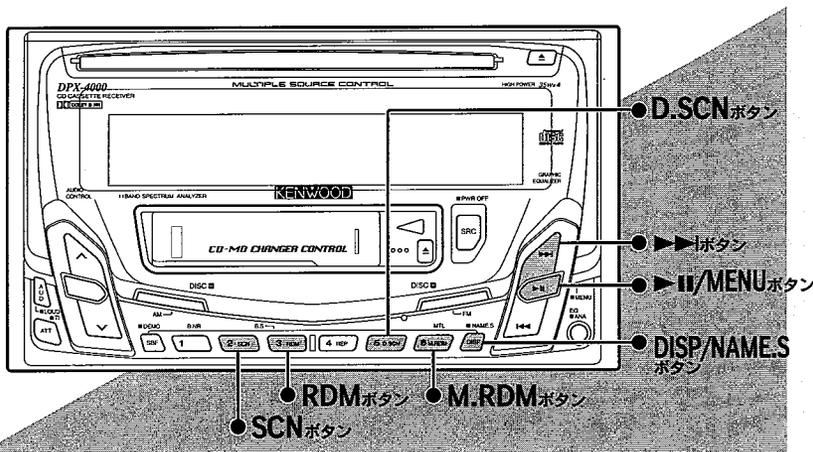
REPボタンを押すごとにトラックリピートプレイがオン/オフします。
オンになると“Repeat”と表示されます。トラックリピートプレイ中はREPインジケータが点灯し、聴いている曲を繰り返し演奏します。



ディスクリピートプレイ — 同じディスクを繰り返し聴く —

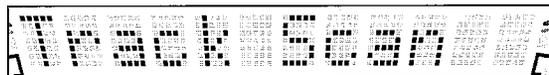
REPボタンを1秒以上押しすごとにディスクリピートプレイがオン/オフします。
オンになると“Disc Repeat”と表示されます。ディスクリピートプレイ中はD.REPインジケータが点灯し、聴いているディスクを繰り返し演奏します。





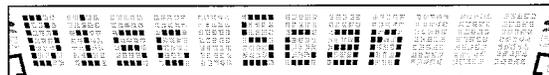
トラックスキャンプレイ — 聴きたい曲を探す —

SCNボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがオン/オフします。オンになると“Track Scan”と表示されます。トラックスキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯し、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。聴きたい曲が見つかったらSCNボタンまたはII/MENUボタンを押します。



ディスクスキャンプレイ — 聴きたいディスクを探す —

D.SCNボタンを押すごとにディスクスキャンプレイがオン/オフします。オンになると“Disc Scan”と表示されます。ディスクスキャンプレイ中はD.SCNインジケータが点灯し、聴いているディスクの先頭部分を10秒間ずつ演奏します。聴きたいディスクが見つかったらD.SCNボタンまたはII/MENUボタンを押します。



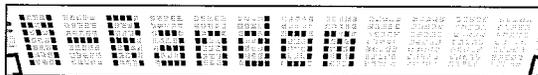
トラックランダムプレイ — 聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する —

RDMボタンを押すごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。オンになると“Random”と表示されます。トラックランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯し、自動的に曲を選んで演奏します。IIボタンを押すと他の曲を選んで自動的に演奏します。



マガジンランダムプレイ — マガジン内のディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する —

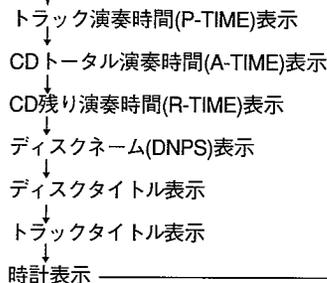
M.RDMボタンを押すごとにマガジンランダムプレイがオン/オフします。オンになると“M-Random”と表示されます。マガジンランダムプレイ中はM.RDMインジケータが点灯し、自動的に曲を選んで演奏します。IIボタンを押すと他の曲を選んで自動的に演奏します。



表示モード切り替え — 表示を切り替える —

DISP/NAME.Sボタンを押すごとに、下記のように表示が切り替わります。

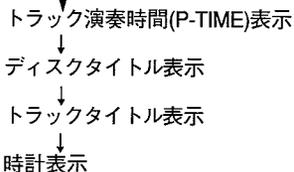
● CDチェンジャーの場合



◆ MEMO ◆

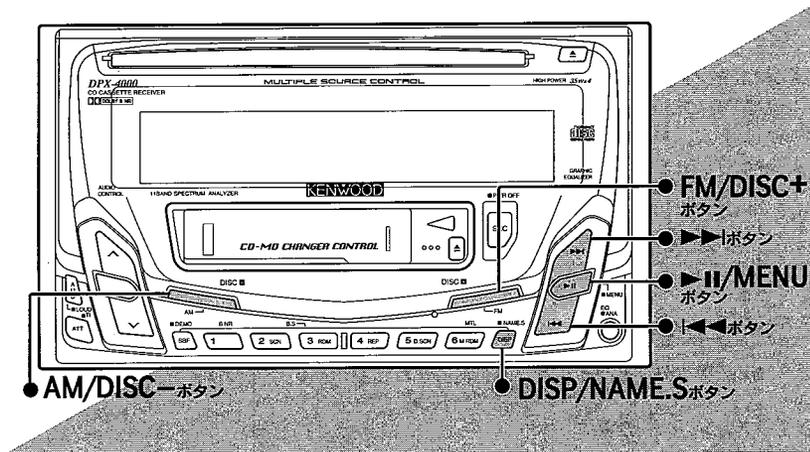
- ディスクネームプリセットされていないディスクはDNPS表示にすると“No Name”と表示されます。
- ディスクタイトル、トラックタイトルが記録されていない場合は“No Text”と表示されます。
- “O-Nスイッチ”を“N”に設定した時のみ、ディスクタイトル、トラックタイトルを表示できます。

● MDチェンジャーの場合

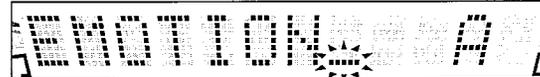


◆ MEMO ◆

- ディスクタイトル、トラックタイトルが記録されていない場合は“No Title”と表示されます。
- “O-Nスイッチ”を“O”に設定した場合、カタカナで記録されているディスク/トラックタイトルはカタカナではなくローマ字で表示されます。また、表示できる文字数は8文字までです。
- MD演奏中はトラック演奏時間 (P-TIME) のみ表示できます。演奏時間の切り替えはできません。



5. FM/DISC+ボタンまたはAM/DISC-ボタンで入力する文字を選びます。3~5の操作を繰り返してディスクネームを完成させます。



◆ MEMO ◆

- 時計表示中はディスクネームプリセットモードに切り替えることはできません。
- FM/DISC+またはAM/DISC-ボタンを押し続けると文字を連続して切り替えることができます。
- カタカナの小文字はカタカナの大文字が全て表示された後に表示されます。
- 入力できる記号は /、+、-、*、=、<、>、[、] です。
- 入力できる文字数は8文字までです。
- スペースを入れる場合は、各文字種をスクロールして文字の無いところでカーソルを移動してください。

6. DISP/NAME.Sボタンを押すと、聴いているディスクに名前が登録され、ディスクネームプリセットモードが終了します。

◆ MEMO ◆

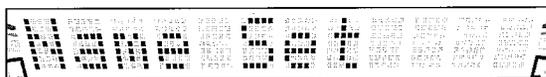
- 10秒間操作を行わないと、入力したところまでの文字がメモリーされディスクネームプリセットモードは終了します。
- ディスクネームを変更したいときは、CDの演奏を開始した後、再度2~5の操作を行えば以前に付けた名前は消えて、新たに付けた名前が登録されます。
- CDモードでディスクネームプリセットしたディスクを、ディスクチェンジャーモードで演奏してもディスクネームは表示されません。
- リセットボタンを押してもディスクネームは消えません。
- ディスクネームを登録できるディスクの枚数は、接続しているCDチェンジャーにより異なります。ディスクネームプリセットできる枚数は以下のとおりです。下記の表に記載されていないCDチェンジャーについては、それぞれのCDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

| CDチェンジャー名 | ディスクネームプリセット可能枚数 |
|---|------------------|
| KDC-C11 | 30枚 |
| KDC-C110、KDC-C106 | 50枚 |
| KDC-C310、KDC-C306、KDC-C210 KDC-C206、C705i、C705sr | 100枚 |

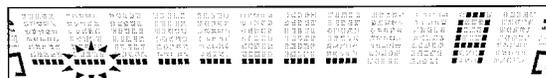
- ディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。総録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。
- ディスクネームプリセットはMDにタイトルを記録する機能ではありません。
- MDチェンジャーを選択している場合は、ディスクネームプリセット機能は使用できません。

ディスクネームプリセット - CDに名前を付ける -

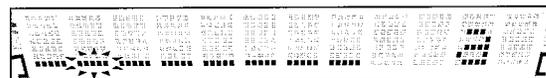
1. 名前を付けたいCDを演奏します。
2. DISP/NAME.Sボタンを2秒以上押しすと、“Name Set”と表示され、ディスクネームプリセットモードになります。



3. ◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押して、文字を入力したい位置に点滅しているカーソルを移動させます。

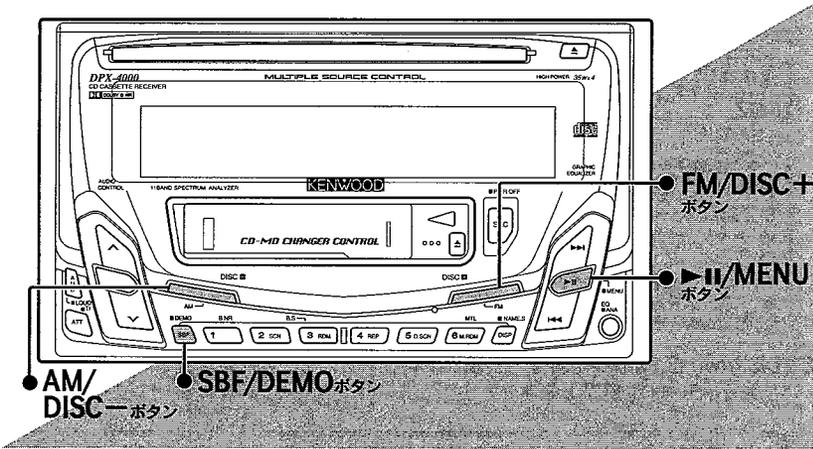


4. ▶II/MENUボタンを押すごとに入力できる文字種がA (英大文字/数字/記号) ⇨ a (英小文字/数字/記号) ⇨ ア (カタカナ/数字/記号) の順に替わります。



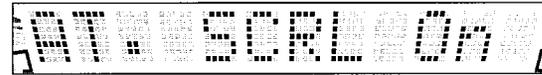
◆ MEMO ◆

文字種が切り替えられるのは、KDC-C310、KDC-C306、KDC-C210、KDC-C206、KDC-C110、およびKDC-C106です。これ以外のディスクチェンジャーでは英大文字のみの登録になります。



タイトルスクロール - タイトルをスクロール表示させる -

- ▶ II/MENUボタンを1秒以上押し、"Function Set" と表示させ、メニューモードにします。
- FM/DISC+ボタンまたはAM/DISC-ボタンを押すごとに、タイトルスクロール機能がオン/オフします。
オンにすると "AT.SCRL On" と表示され、約5秒毎にタイトル表示がスクロールします。



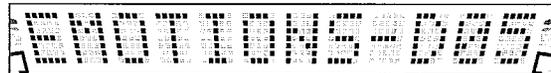
- ▶ II/MENUボタンを押して、メニューモードを終了します。

◆ MEMO ◆

"O-Nスイッチ" を "N" に設定して使用している場合のみ、ディスクタイトル、トラックタイトルのスクロール表示ができます。

セレクトバイファイル - ネームプリセットしているディスクから探す -

- SBF/DEMOボタンを押します。
"SBF DNPS" と表示され、SBFインジケータが点灯して、ディスクマガジンにセットされているCDのディスクネームを5秒間ずつ順に表示します。



◆ MEMO ◆

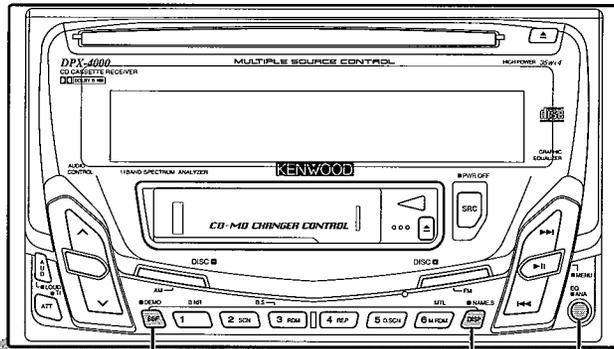
- セレクトバイファイル機能が使えなのは、KDC-C310、KDC-C306、KDC-C210、KDC-C206、KDC-C110、およびKDC-C106を接続している時です。これ以外のディスクチェンジャーでは使用できません。
- FM/DISC+ボタンを押すごとに早送り表示、AM/DISC-ボタンを押すごとに早戻し表示ができます。
- ディスクネームプリセットされていないディスクは、"No Name" と表示されます。
- ディスクチェンジャーにセットされてから一度も演奏されていないディスクのディスクネームを表示することはできません。 ("No Access" と表示されます)。このようなときはディスクスキャン機能を使って一度全てのディスクをプレイすると表示ができるようになります。
- ディスクマガジンにディスクがセットされていないときも "No Access" と表示されます。

- 聴きたいディスクが見つかったら、SBF/DEMOボタンを押します。
選択したディスクを演奏します。

◆ MEMO ◆

途中で解除するときはSBF/DEMOボタンを1秒以上押します。

EQUALIZER/ANALYZER CONTROL



SBF DEMO
ボタン

DISP/NAME.S
ボタン

EQ/ANA
ボタン

EQUALIZER/ANALYZER CONTROL

EQUALIZER/ANALYZER CONTROL

イコライザー設定 - イコライザーカーブを設定する -

EQ/ANAボタンを押すと現在のイコライザーカーブが表示され、押すごとに以下のように表示が切り替わります。

| イコライザーカーブ | 表示 | 効果 |
|-----------|---------|----------------------------|
| フラット | Flat | イコライザー効果を効かせずに自然な音の状態にします。 |
| ポップス | Pops | インストゥルメンタル、ボーカルにメリハリをつけます。 |
| ロック | Rock | 高音・低音にメリハリを効かせます。 |
| クラシック | Classic | オーケストラ構成された音楽を聴くのに適しています。 |

スペクトラムアナライザー選択 - スペクトラムアナライザーの選択をする -

- EQ/ANAボタンを2秒以上押すと、S.Aインジケータが点滅し、メニューモード(P.13)のスペクトラムアナライザー設定で設定されているアナライザーグループのアナライザー名が表示されます。
- DISP/NAME.Sボタンを押すごとに、以下のようにアナライザー表示が切り替わります。

ANA. Silenceグループ

- Circle mode
- EQcurve mode
- Peak Hold
- Speana OFF

ANA. Standardグループ

- Peak Hold
- Side Wave
- Round Shot
- Blizzard
- Half-Reverse
- Block Falls
- Impulse
- Slot
- Circle mode
- Speana OFF

ANA. UP-Beatグループ

- SuperCircle
- Peak Hold
- Side Wave
- Round Shot
- Blizzard
- Turn Table
- Impulse
- Slot
- Thunder
- Speana OFF

- EQ/ANAボタンを押して、スペクトラムアナライザー設定モードを終了します。

◆ MEMO ◆

10秒間何も操作をしないとスペクトラムアナライザー設定モードは自動的に解除されます。

デモンストレーション - スペクトラムアナライザー表示を次々に替えて表示する -

SBF/DEMOボタンを1秒以上押すと、“SPEANA Demo”と表示され、DEMOインジケータが点灯してデモンストレーションが始まります。デモンストレーションがオン中は、スペクトラムアナライザー表示が順次切り替わられて表示されます。何か(任意の)ボタンを押すとデモンストレーションは解除されます。

◆ MEMO ◆

ALL OFF MODE中と交通情報機能オン中はデモンストレーション機能は使用できません。

接続のしかた

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

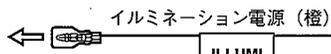
1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをDPX-4000に接続します。
5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
6. リセットボタンを押します。

アンテナ端子の形状が異なる場合は別売品の変換コードが必要です。詳細はカタログをご覧ください。



電源ハーネス
(付属)

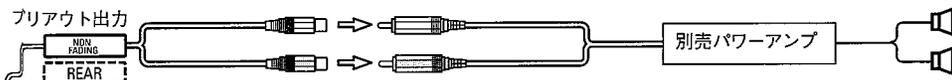
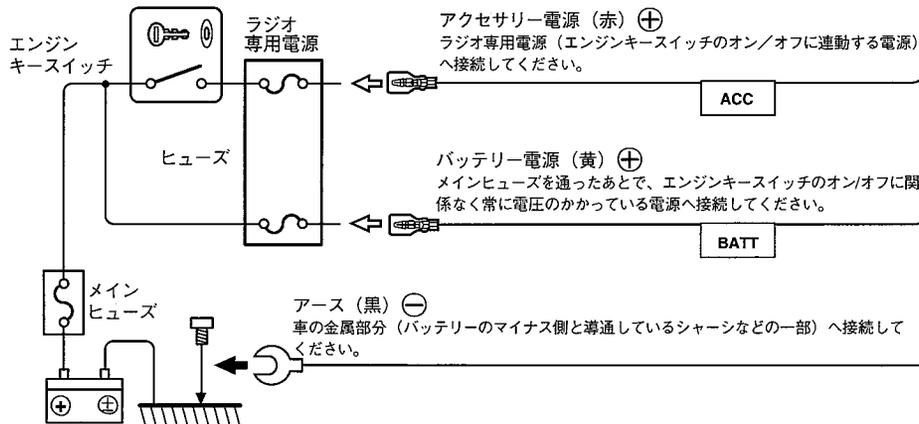
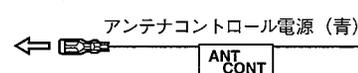
本機にディマーをかけるための電源入力です。ライトスイッチでオン/オフできる電源へ接続してください。



別売品のパワーアンプを接続する場合、パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

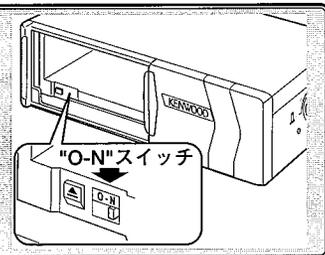


オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのプースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。



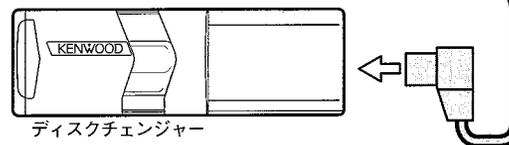
ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチについて

- O-N切り替えスイッチのある機種を接続している場合は“O-N”スイッチを“N”側に設定してください。
- CD/MDチェンジャースイッチングユニットKCA-S200を使用して、2台接続する場合は、“O-N”スイッチを“O”側に設定してください。“N”側に設定すると正しく動作しません。

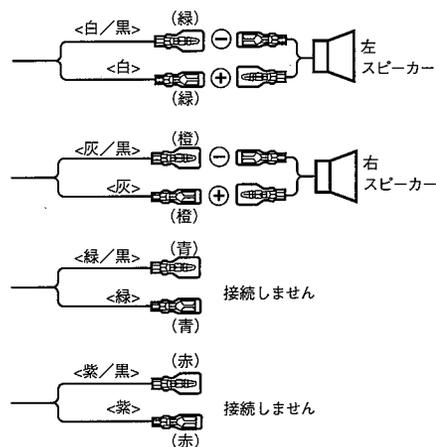


ディスクチェンジャー接続ケーブル (ディスクチェンジャーに付属)

※ディスクチェンジャーを2台接続する場合は別売品のKCA-S210Aをご使用ください。



2スピーカー時のスピーカー接続方法



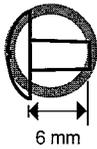
取り付けかた

付属のネジ (M5×6 mm) を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。
使用するネジの個数は車種により異なります。

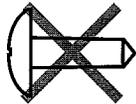
注意

- 取り付け前にCDの動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてCDの差し込み/取り出しを行ってください。
- 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属取付ネジ



その他のネジ



付属ネジ一覧

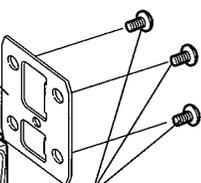
| | | |
|---|------------------------|---|
|  | トラスネジ (M5×6 mm) | 6 |
|  | バインドネジ (M4×6 mm) | 1 |

バインドネジ (M4×6mm) (付属)



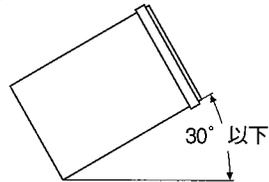
別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。

車両ブラケットなど



トラスネジ (M5×6 mm) (付属)

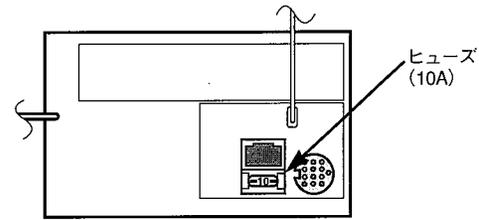
トラスネジ (M5×6 mm) (付属)



別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

注意
本機の取付角度は30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。

ヒューズ交換のしかた



注意
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

故障かな？ と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

| こんなとき | どうして | こうします |
|----------------------|--|--|
| 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none"> ヒューズが切れている。 入・出力/電源コードが間違っ て接続されている。 | <ul style="list-style-type: none"> コード類がショートしていないことを確 認後、所定容量のヒューズと交換してく ださい。 “接続のしかた(⇨P.38)”を見て正しく 接続してください。 |
| 音が出ない/小さい | <ul style="list-style-type: none"> アッテネーターがオンになっ ている。 音量が最小になっている。 フェダー、バランスが片側に片 寄った設定になっている。 スピーカーコードが間違っ て接続されている。 結露している。 | <ul style="list-style-type: none"> アッテネーターを解除してください。 音量を適度に上げてください。 フェダー、バランスを調整してください。 “接続のしかた(⇨P.38)”を見て正しく 接続してください。 しばらく放置してから使用してください。 |
| 操作スイッチを押しても動作し ない | マイコンが誤動作している。 | 本機のリセットボタンを押してください。 |
| テープが入らない | <ul style="list-style-type: none"> カセットハーフが変形している。 テープが逆向きになっている。 すでにカセットテープが入っ ている。 | <ul style="list-style-type: none"> 他のカセットテープを使用してください。 テープが見える面を右にして入れてくだ さい。 すでに入っているカセットテープを取り 出してから入れて下さい。 |
| チューナーの感度が悪い | <ul style="list-style-type: none"> 自動車のアンテナが伸びていな い。 アンテナコントロール電源が接 続されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> アンテナを十分伸ばしてください。 “接続のしかた(⇨P.38)”をみてアンテ ナコントロール電源を接続してください。 |
| CDが入らない | すでにCDが入っている。 | すでに入っているCDを取り出してから入れ てください。 |
| CDを入れてもすぐ出てしま う | <ul style="list-style-type: none"> CDが裏返しになっている。 CDが異常に汚れている。 結露している。 | <ul style="list-style-type: none"> ラベル面を上にして入れなおしてくだ さい。 “CDのお手入れ(⇨P.8)”を見てクリー ニングしてみてください。 しばらく、放置してから使用してくだ さい。⇨P.9 |
| 音が飛んでしまう | <ul style="list-style-type: none"> 取り付け角度が、30°を越えて いる。 取り付けが不安定になってい る。 CDに傷や汚れなどがついてい る。 | <ul style="list-style-type: none"> 30°以内の角度に調整してください。 しっかりと固定してください。 停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、 CDの問題です。“CDのお手入れ(⇨P.8)” を見てクリーニングしてみてください。 |

| こんなとき | どうして | こうします |
|----------------------------------|--|--|
| 音質が悪い (再生中/ノイズが出る) | <ul style="list-style-type: none"> CD自身の音質。 CDに傷や汚れなどがついてい る。 | <ul style="list-style-type: none"> 他のCDを再生して問題がなければCD自 身の音質です。 “CDのお手入れ(⇨P.8)”を見てクリー ニングしてみてください。 |
| 選曲動作をしても目的の曲に ならない。 | トラックランダムプレイモードに なっている。 | トラックランダムプレイモードを解除して ください。 |
| 音質が悪い(音が歪む) | <ul style="list-style-type: none"> 音量が大きすぎる。 ヘッドが汚れている。 スピーカーコードが車両側のネ ジにかみ込んでいる。 スピーカー配線が間違っ ている。 | <ul style="list-style-type: none"> 適正音量で使用してください。 “ヘッドクリーニングについて(⇨P.7)” を見てヘッドクリーニングを行ってくだ さい。 スピーカー配線をチェックしてください。 スピーカー出力端子をそれぞれのスピー カー端子に接続してください。 |
| エンジンキーをOFFにすると、 メモリー内容が消えてしまう | バッテリー電源が所定の場所に 接続されていない。 | “接続のしかた(⇨P.38)”を見て正しく 接続してください。 |

故障かな？ と思ったら

●ディスクチェンジャー（別売品）を接続しているとき

| こんなとき | どうして | こうします |
|--------------------|--|---|
| ディスクチェンジャーモードにならない | 本機のチェンジャー入力が接続されていない。 | 本機のチェンジャー入力を接続してください。 |
| 操作スイッチを押しても動作しない | マイコンが誤動作している。 | 本機のリセットボタンを押してください。 |
| ディスクの演奏が始まらない | 電源がオンになっていない。 | SRC/PWR OFFボタンを押してディスクチェンジャーモードにしてください。 |
| 指定したディスクが演奏されない | <ul style="list-style-type: none"> ディスクが異常に汚れている。 ディスクが裏返しになっている。 ディスクが2枚同じ場所に入っている。 ディスクを入れた場所と指定No.が違う。 ディスクに大きな傷がある。 | <ul style="list-style-type: none"> “CDのお手入れ(⇨P.8)”を見てクリーニングしてください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。 他のディスクを使用してください。 |
| チェンジャー表示はするが音がでない | <ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 アッテネーターがONになっている。 マイコンが正常に動作していない。 | <ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 アッテネーターを解除してください。 本機のリセットボタンを押してください。 |
| 選曲動作をしても目的の曲にならない | トラックランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードになっている。 | トラックランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードを解除してください。 |

●以下の表示でシステムの状態をお知らせします。

- Eject :** ディスクマガジンがセットされていない。
ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc :** ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- Error 04 :** ディスクが異常に汚れている。
ディスクが裏返しになっている。
ディスクに傷が多く付いている。
ディスクが入っていない。
トレイが入っていない。
- Error 77/ :
Error 99 :** 何らかの原因で正常に動作していない。
⇨本機のリセットボタンを押してください。
押しても、“Error 77” “Error 99”の表示がそれぞれ消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Hold :** ディスクオートチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇨ディスクオートチェンジャーまたは本機の取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
CDプレイヤー部の内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇨本機または接続機器の取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- No Name :** ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、ステーションネーム表示にしようとした。
ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスクネーム表示にしようとした。
長時間バッテリーを外していた後に、ステーションネーム/ディスクネーム表示にしようとした。
- No Title :** トラック/ディスクタイトルが記録されていないMDを演奏中に、トラック/ディスクタイトル表示にしようとした。
- No Text :** CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Track :** 演奏しようとしたMDにトラックが1つも記録されていない。
⇨次のMDを自動的に演奏します。
- Blank :** 演奏しようとしたMDに何も記録されていない。
⇨次のMDを自動的に演奏します。
-  **IN (点滅):** テーププレイヤーが正常に動作していない。
⇨テープを入れ直してください。
-  **IN (点滅):** CDプレイヤーが正常に動作していない。
⇨CDを入れ直してください。

テープやCDが取り出せないときやテープやCDを正しく入れなおしてもインジケーターが点滅したままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

| | |
|------------------|-------------------------|
| 受信周波数範囲(周波数ステップ) | 76.0~90.0 MHz (100 kHz) |
| 実用感度(S/N:30 dB) | 9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω) |
| S/N 50 dB感度 | 15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω) |
| 周波数特性(±3.0 dB) | 30 Hz~15 kHz |
| S/N比(dB) | 75 dB (MONO) |
| 選択度(±400 kHz) | 80 dB以上 |
| ステレオセパレーション | 40 dB (1 kHz) |

AMチューナー部

| | |
|------------------|----------------------|
| 受信周波数範囲(周波数ステップ) | 522~1629 kHz (9 kHz) |
| 感度 | 28 dBμ |

カセットプレーヤー部

| | |
|----------------|------------------------|
| テープスピード | 4.76 cm/秒 |
| ワウ&フラッター | 0.08 % (WRMS) |
| 周波数特性(±3.0 dB) | 25~22 kHz (70 μs) |
| ステレオセパレーション | 40 dB (1 kHz) |
| S/N比(IHF-A) | 60 dB (Dolby B NR OFF) |
| | 68 dB (Dolby B NR ON) |

CDプレーヤー部

| | |
|--------------|-------------------------------|
| レーザー | GaAlAs(ダブルヘテロダイオード, λ=780 nm) |
| デジタルフィルター | 8倍オーバーサンプリング |
| D/Aコンバーター | 1 Bit |
| 回転数 | 500~200 rpm (線速度一定) |
| ワウ&フラッター | 測定限界以下 |
| 周波数特性 | 10 Hz~20 kHz |
| 高周波歪率 | 0.01 % (1 kHz) |
| S/N比(dB) | 93 dB |
| ダイナミックレンジ | 93 dB |
| チャンネルセパレーション | 85 dB |

オーディオ部

| | |
|-----------------|----------------------|
| 最大出力 | 35 W × 4 |
| 定格出力 | 21 W × 4 |
| | (4 Ω, 1 kHz, 10%THD) |
| プリアウトレベル(FM) | 1500 mV / 10 kΩ |
| プリアウトインピーダンス | 600 Ω以下 |
| トーンコントロール(バス) | 100 Hz ±10 dB |
| トーンコントロール(トレブル) | 10 kHz ±10 dB |

電源部

| | |
|--------|------------------|
| 電源電圧 | 14.4 V (11~16 V) |
| 最大消費電流 | 10 A |

寸法・質量

| | |
|-------------|--------------------|
| 埋込寸法(W×H×D) | 178 × 100 × 155 mm |
| 質量(重さ) | 2.6 kg |

付属部品

| | |
|-----------------|----|
| 電源ハーネス | 1本 |
| トラスネジ(M5×6 mm) | 6本 |
| バインドネジ(M4×6 mm) | 1本 |

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。